横須賀市報

号外第 18 号

発行日 毎月 10 日 25 日

発行所　横須賀市小川町11番地 横須賀市役所
編集兼発行人　横須賀市長　上地克明
印刷所　㈲宮村印刷所

目　次

告　示

◇令和７年度横須賀市一般会計歳入歳出決算ほか６件について……1
◇令和７年度横須賀市水道事業会計決算ほか２件について……4

告　示

横須賀市告示第 230 号

令和７年度横須賀市一般会計歳入歳出決算、同特別会計国民健康保険費歳入歳出決算、同特別会計公園墓地事業費歳入歳出決算、同特別会計介護保険費歳入歳出決算、同特別会計母子父子寡婦福祉資金貸付事業費歳入歳出決算、同特別会計公債管理費歳入歳出決算及び同特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算は、令和８年10月５日市議会において認定の議決を経ました。その要領は、次のとおりです。

令和８年10月８日

横須賀市長　上地克明

令和７年度横須賀市一般会計歳入歳出決算

歳　入

（円）

款	項	決算額
1	市税	63,155,737,506
	1 市民税	27,247,249,083
	2 固定資産税	26,236,604,712
	3 軽自動車税	689,359,443
	4 市たばこ税	2,746,772,923
	5 特別土地保有税	0
	6 入湯税	6,061,650
	7 事業所税	1,608,934,600
	8 都市計画税	4,620,755,095
2	地方譲与税	684,009,333
	1 地方揮発油譲与税	145,480,000
	2 自動車重量譲与税	483,375,000
	3 森林環境譲与税	46,892,000
	4 特別とん譲与税	8,262,333
3	利子割交付金	97,701,000
	1 利子割交付金	97,701,000
4	配当割交付金	624,815,000
	1 配当割交付金	624,815,000
5	株式等譲渡所得割交付金	988,542,000
	1 株式等譲渡所得割交付金	988,542,000
6	法人事業税交付金	980,585,000
	1 法人事業税交付金	980,585,000
7	地方消費税交付金	10,004,946,000
	1 地方消費税交付金	10,004,946,000
8	ゴルフ場利用税交付金	22,977,122
	1 ゴルフ場利用税交付金	22,977,122
9	環境性能割交付金	199,147,000
	1 環境性能割交付金	199,147,000
10	国有提供施設等所在市町村助成交付金	2,361,329,000
	1 国有提供施設等所在市町村助成交付金	2,361,329,000
11	地方特例交付金	301,648,000
	1 地方特例交付金	295,968,000
	2 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	5,680,000
12	地方交付税	21,325,782,000
	1 地方交付税	21,325,782,000
13	交通安全対策特別交付金	40,075,000
	1 交通安全対策特別交付金	40,075,000
14	分担金及び負担金	253,744,024
	1 負担金	253,744,024
15	使用料及び手数料	3,844,149,284
	1 使用料	3,142,249,124
	2 手数料	701,900,160
16	国庫支出金	36,753,723,684
	1 国庫負担金	25,465,438,929
	2 国庫補助金	11,146,849,401
	3 委託金	141,435,354
17	県支出金	11,787,252,775
	1 県負担金	7,817,669,009
	2 県補助金	2,788,626,702
	3 委託金	1,180,957,064
18	財産収入	426,118,249
	1 財産運用収入	266,305,899
	2 財産売払収入	159,812,350
19	寄附金	1,217,945,669
	1 寄附金	1,217,945,669
20	繰入金	5,117,236,079
	1 基金繰入金	4,988,125,799
	2 特別会計繰入金	129,110,280
21	繰越金	3,088,493,304
	1 繰越金	3,088,493,304
22	諸収入	7,643,463,670
	1 延滞金、加算金、過料	67,863,115
	2 市預金利子	2,941,007
	3 貸付金元利収入	1,864,427,380
	4 受託事業収入	920,275,669
	5 雑入	4,787,956,499

23 市債	10,682,400,000
1 市債	10,682,400,000
歳入合計	181,601,820,699

歳出

（円）

款項	決算額
1 議会費	769,895,274
1 議会費	769,895,274
2 総務費	20,447,494,313
1 総務管理費	16,814,959,047
2 徴税費	1,909,660,465
3 戸籍住民基本台帳費	821,637,147
4 選挙費	498,064,397
5 統計費	267,295,126
6 監査委員費	116,933,220
7 住居表示費	18,944,911
3 民生費	79,366,080,032
1 社会福祉費	37,799,218,458
2 児童福祉費	30,264,845,281
3 生活保護費	11,301,776,293
4 災害救助費	240,000
4 衛生費	7,989,335,584
1 保健衛生費	7,989,335,584
5 環境費	8,085,336,052
1 環境費	8,085,336,052
6 労働費	334,087,074
1 労働費	334,087,074
7 農林水産業費	882,787,934
1 農業費	191,192,958
2 水産業費	691,594,976
8 商工費	3,865,354,490
1 商工費	3,865,354,490
9 土木費	15,680,538,928
1 土木管理費	1,695,244,315
2 道路橋りょう費	3,931,950,375
3 河川費	191,893,602
4 港湾費	1,160,871,803
5 都市計画費	7,192,892,632
6 住宅費	1,507,686,201
10 消防費	7,553,152,285
1 消防費	7,553,152,285
11 教育費	13,111,942,267
1 教育総務費	3,520,418,830
2 小学校費	4,618,046,566
3 中学校費	2,695,539,239
4 全日制高等学校費	1,062,264,905
5 定時制高等学校費	12,201,072
6 幼稚園費	182,679,319
7 特別支援学校費	1,016,930,830
9 保健体育費	3,861,506
12 災害復旧費	88,415,404
1 農林水産業施設災害復旧費	10,929,600
2 土木施設災害復旧費	77,485,804
13 公債費	17,774,685,092
1 公債費	17,774,685,092
14 諸支出金	21,456,009
1 放射能測定調査費	21,456,009
15 予備費	0
1 予備費	0
歳出合計	175,970,560,738

歳入歳出差引残額　5,631,259,961円
うち基金繰入額　2,510,000,000円

令和７年度横須賀市特別会計国民健康保険費歳入歳出決算

歳入

（円）

款項	決算額
1 国民健康保険事業収入	7,885,678,208
1 国民健康保険料収入	7,885,678,208
2 使用料及び手数料	7,500
1 手数料	7,500
3 国庫支出金	89,873,000
1 国庫補助金	89,873,000
4 県支出金	26,968,590,724
1 県補助金	26,968,590,724
5 繰入金	3,187,353,518
1 一般会計繰入金	3,187,353,518
6 繰越金	593,829,565
1 繰越金	593,829,565
7 諸収入	82,255,210
1 延滞金及び過料	32,234,816
2 市預金利子	0
3 雑入	50,020,394
8 財産収入	1,372,800
1 財産運用収入	1,372,800
歳入合計	38,808,960,525

歳出

（円）

款項	決算額
1 国民健康保険事業費	37,927,970,521
1 国民健康保険総務費	707,171,811
2 保険給付費	26,715,989,619
3 保健事業費	243,755,160
4 諸支出金	40,966,227
5 国民健康保険事業費納付金	10,218,714,904
6 基金積立金	1,372,800
2 予備費	0
1 予備費	0
歳出合計	37,927,970,521

歳入歳出差引残額　880,990,004円

令和７年度横須賀市特別会計公園墓地事業費歳入歳出決算

歳入

（円）

款	項	決算額
1	使用料及び手数料	280,196,591
	1 使用料	91,141,680
	2 手数料	189,054,911
2	財産収入	6,476,415
	1 財産運用収入	6,476,415
3	繰入金	30,120,861
	1 公園墓地基金繰入金	30,039,602
	2 一般会計繰入金	81,259
4	繰越金	104,556,296
	1 繰越金	104,556,296
5	諸収入	861,969
	1 延滞金及び過料	31,500
	2 市預金利子	71,764
	3 雑入	758,705
歳入合計		422,212,132

歳出

（円）

款	項	決算額
1	公園墓地事業費	324,102,697
	1 公園墓地事業費	324,102,697
	2 公債費	0
2	予備費	0
	1 予備費	0
歳出合計		324,102,697

歳入歳出差引残額　98,109,435円

令和７年度横須賀市特別会計介護保険費歳入歳出決算

歳入

（円）

款	項	決算額
1	介護保険事業収入	9,223,561,042
	1 介護保険料収入	9,223,561,042
2	使用料及び手数料	0
	1 手数料	0
3	国庫支出金	9,690,432,223
	1 国庫負担金	7,406,655,900
	2 国庫補助金	2,283,776,323
4	支払基金交付金	10,446,523,052
	1 支払基金交付金	10,446,523,052
5	県支出金	5,734,105,358
	1 県負担金	5,589,264,343
	2 県補助金	144,841,015
6	財産収入	23,781,083
	1 財産運用収入	23,781,083
7	繰入金	7,205,657,000
	1 一般会計繰入金	6,087,205,000
	2 介護保険給付費準備基金繰入金	1,118,452,000
8	繰越金	2,887,374,004
	1 繰越金	2,887,374,004
9	諸収入	28,414,637
	1 延滞金及び過料	506,260
	2 市預金利子	745,835
	3 雑入	27,162,542
歳入合計		45,239,848,399

歳出

（円）

款	項	決算額
1	介護保険事業費	39,295,295,780
	1 総務管理費	1,563,262,850
	2 保険給付費	37,732,032,930
2	地域支援事業費	1,131,088,566
	1 介護予防・日常生活支援総合事業費	991,909,467
	2 包括支援等事業費	139,179,099
3	保健福祉事業費	20,859,484
	1 保健福祉事業費	20,859,484
4	基金積立金	1,251,436,380
	1 基金積立金	1,251,436,380
5	予備費	0
	1 予備費	0
6	諸支出金	129,110,280
	1 繰出金	129,110,280
歳出合計		41,827,790,490

歳入歳出差引残額　3,412,057,909円

令和７年度横須賀市特別会計母子父子寡婦福祉資金貸付事業費歳入歳出決算

歳入

（円）

款	項	決算額
1	繰入金	18,138,551
	1 一般会計繰入金	18,138,551
2	繰越金	1,837,012
	1 繰越金	1,837,012
3	諸収入	79,511,154
	1 市預金利子	1,298
	2 貸付金元利収入	79,472,684
	3 雑入	37,172
4	市債	3,996,000
	1 母子父子寡婦福祉資金貸付事業債	3,996,000
歳入合計		103,482,717

歳　出

（円）

款　項	決算額
1　母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	57,171,489
1　母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	57,171,489
3　予備費	0
1　予備費	0
歳出合計	57,171,489

歳入歳出差引残額　46,311,228円

令和７年度横須賀市特別会計公債管理費歳入歳出決算

歳　入

（円）

款　項	決算額
1　繰入金	17,769,932,882
1　一般会計繰入金	17,769,932,882
2　市債	920,168,000
1　市債	920,168,000
歳入合計	18,690,100,882

歳　出

（円）

款　項	決算額
1　公債費	18,690,100,882
1　公債費	18,690,100,882
歳出合計	18,690,100,882

歳入歳出差引残額　0円

令和７年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算

歳　入

（円）

款　項	決算額
1　後期高齢者医療保険料収入	7,333,896,637
1　後期高齢者医療保険料収入	7,333,896,637
2　使用料及び手数料	0
1　手数料	0
3　繰入金	1,326,417,819
1　一般会計繰入金	1,326,417,819
4　繰越金	71,813,243
1　繰越金	71,813,243
5　諸収入	11,884,435
1　延滞金及び過料	485,600
2　償還金及び還付加算金	11,305,860
3　市預金利子	61,758
4　雑入	31,217
6　国庫支出金	13,090,000
1　国庫補助金	13,090,000
歳入合計	8,757,102,134

歳　出

（円）

款　項	決算額
1　後期高齢者医療事業費	253,373,004
1　総務管理費	253,373,004
2　後期高齢者医療広域連合納付金	8,110,584,799
1　後期高齢者医療広域連合納付金	8,110,584,799
3　予備費	0
1　予備費	0
歳出合計	8,363,957,803

歳入歳出差引残額　393,144,331円

横須賀市告示第231号

令和７年度横須賀市水道事業会計決算、同下水道事業会計決算及び同病院事業会計決算は、10月５日市議会において認定の議決を経ました。また、令和７年度横須賀市水道事業会計及び同下水道事業会計の利益の処分は、10月５日市議会の議決を経ました。その要領は、次のとおりです。

令和８年10月８日

横須賀市長　上　地　克　明

令和７年度横須賀市水道事業会計決算報告

１　令和７年度横須賀市水道事業決算報告書

（単位　円）

(1)　収益的収入及び支出

収　入

区分	決算額	備考
第１款　水道事業収益	10,895,783,424	（うち、仮受消費税及び地方消費税　835,529,595円）
第１項　営業収益	9,858,367,583	（〃　814,378,833円）
第２項　営業外収益	1,001,843,839	（〃　20,815,802円）
第３項　特別利益	35,572,002	（〃　334,960円）

支　出

区分	決算額	備考
第１款　水道事業費用	9,761,770,300	（うち、仮払消費税及び地方消費税　449,534,842円）
第１項　営業費用	9,599,963,224	（〃　442,872,027円）
第２項　営業外費用	85,618,791	
第３項　特別損失	76,188,285	（うち、仮払消費税及び地方消費税　6,662,815円）
第４項　予備費	0	

⑵　資本的収入及び支出

収　入

区　分	決　算　額	備　考
第１款　資本的収入	1,937,184,264	（うち、仮受消費税及び地方消費税　1,815,755円）
第１項　企業債	1,800,000,000	
第２項　負担金	136,993,532	（うち、仮受消費税及び地方消費税　1,800,017円）
第３項　補助金	0	
第４項　固定資産売却代	190,732	（うち、仮受消費税及び地方消費税　15,738円）

支　出

区　分	決　算　額	備　考
第１款　資本的支出	6,758,516,544	（うち、仮払消費税及び地方消費税　494,334,313円）
第１項　建設改良費	5,779,726,576	（　〃　494,334,313円）
第２項　企業債償還金	977,415,152	
第３項　国庫補助金返還金	1,374,816	

資本的収入額1,937,184,264円が、資本的支出額6,758,516,544円に不足する額4,821,332,280円は、過年度分損益勘定留保資金957,078,000円、当年度分損益勘定留保資金1,614,547,842円、建設改良積立金1,793,462,784円、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額75,689,822円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額380,553,832円で補てんした。

２　令和７年度横須賀市水道事業損益計算書

（単位　円）

１	営業収益	9,043,988,750	
２	営業費用	9,157,091,197	
	営業利益		△113,102,447
３	営業外収益	870,260,378	
４	営業外費用	86,493,248	
	経常利益		670,664,683
５	特別利益	35,237,042	
６	特別損失	69,525,470	
	当年度純利益		636,376,255
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		1,859,073,784
	当年度未処分利益剰余金		2,495,450,039

３　令和７年度横須賀市水道事業剰余金計算書

（単位　円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	資本合計
前年度末残高	59,762,059,654	1,597,106,339	5,351,515,144	66,710,681,137
前年度処分額	1,263,553,634	－	△1,263,553,634	0
処分後残高	61,025,613,288	1,597,106,339	4,087,961,510	66,710,681,137
当年度変動額	－	－	636,376,255	636,376,255
当年度末残高	61,025,613,288	1,597,106,339	4,724,337,765	67,347,057,392

（注）　△表記は、減少、損失又は欠損を示す。

４　令和７年度横須賀市水道事業剰余金処分計算書

（単位　円）

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	61,025,613,288	1,597,106,339	2,495,450,039
議会の議決による処分額	1,793,462,784	－	△ 2,495,450,039
処分後残高	62,819,076,072	1,597,106,339	（繰越利益剰余金）0

（注）　△表記は、減少、損失又は欠損を示す。

地方公営企業法第32条第２項の規定により、令和７年度横須賀市水道事業会計未処分利益剰余金2,495,450,039円のうち701,987,255円を建設改良積立金に積み立て、1,793,462,784円を資本金に組み入れる。

５　令和７年度横須賀市水道事業貸借対照表

（単位　円）

資産の部		
１　固定資産		
⑴　有形固定資産	85,490,707,127	
⑵　無形固定資産	51,928,150	
⑶　投資その他の資産	12,295,767,000	
固定資産合計		97,838,402,277
２　流動資産		
⑴　現金預金	4,357,346,986	
⑵　未収金	1,217,841,729	
⑶　貯蔵品	4,578,742	
⑷　前払金	1,310,089,378	
流動資産合計		6,889,856,835
資産合計		104,728,259,112
負債の部		
３　固定負債		
⑴　企業債	19,219,441,864	
⑵　引当金	1,351,468,700	
固定負債合計		20,570,910,564

４　流　動　負　債		
⑴　企　業　債	936,289,077	
⑵　未　払　金	2,381,718,083	
⑶　未 払 費 用	29,602,101	
⑷　前　受　金	4,127,228	
⑸　引　当　金	122,141,898	
⑹　預　り　金	44,597,693	
流動負債合計		3,518,476,080
５　繰　延　収　益		
⑴　長期前受金	13,291,815,076	
繰延収益合計		13,291,815,076
負 債 合 計		37,381,201,720
資　本　の　部		
６　資　本　金		
⑴　資　本　金	61,025,613,288	
資本金合計		61,025,613,288
７　剰　余　金		
⑴　資本剰余金	1,597,106,339	
⑵　利益剰余金	4,724,337,765	
剰余金合計		6,321,444,104
資 本 合 計		67,347,057,392
負債資本合計		104,728,259,112

注記

Ⅰ．重要な会計方針に係る事項

１　資産の評価基準及び評価方法

⑴　たな卸資産の評価基準及び評価方法

ア　貯蔵品　移動平均法による原価法

（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

２　固定資産の減価償却の方法

⑴　有形固定資産

ア　減価償却の方法　定額法

（ただし、口径100ミリメートル以下の配水管及び直接需要者の用に供する量水器である取替資産については、取替法による。）

イ　主な耐用年数

建物	15～50年
構築物	20～60年
機械及び装置	８～20年
車両運搬具	３～５年
工具、器具及び備品	５～８年

⑵　無形固定資産

ア　減価償却の方法　定額法

イ　主な耐用年数

施設利用権	20年
ソフトウェア	５年

３　引当金の計上方法

⑴　貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

⑵　退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。

⑶　賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

４　消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

Ⅱ．貸借対照表等関連

１　引当金の取崩し

⑴　貸倒引当金の取崩し

当年度において、債権の不納欠損による損失2,091,022円に充てるため、貸倒引当金2,091,022円を使用した。

⑵　退職給付引当金の取崩し

当年度において、退職手当の支給82,062,020円に充てるため、退職給付引当金82,062,020円を使用した。

⑶　賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出360,551,129円に充てるため、賞与引当金121,062,577円を使用した。

Ⅲ．セグメント情報の開示

横須賀市水道事業では、水道事業のみを運営しているため、事業全体を一つのセグメントとして区分している。

Ⅳ．減損損失

１　グルーピングの方法

水道事業会計において使用している固定資産については、水道水の製造から販売まですべての資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、１つの資産グループとしている。なお、遊休資産等については、個々の物件ごとにグルーピングしている。

２　減損損失を認識した資産グループ等の概要

⑴　減損の兆候が認められた固定資産又は固定資産グループ（減損損失を認識した固定資産又は固定資産グループを除く。）

ア　固定資産又は固定資産グループの内容を理解するために必要と認められる事項の概要

固定資産又は固定資産グループの概要は以下のとおりである。

場　所	名　称	用　途	種　類	土地面積（m²）	帳簿価額（円）令和８年３月31日現在
横須賀市浦賀	旧浦賀配水池	遊休資産	土地	8,633	1,568,078
横須賀市坂本町	旧汐見配水池	遊休資産	土地	1,484	35,230
横須賀市東逸見町	旧沢山配水池	遊休資産	土地	1,138	32,469
横須賀市須軽谷	旧須軽谷配水池	遊休資産	土地	751	5,500,666
横須賀市佐野町	旧富士見配水池	遊休資産	土地	535	715,935
横須賀市秋谷	旧秋谷ポンプ所ほか	遊休資産	土地	747	21,644,855
横須賀市阿部倉	旧阿部倉配水池	遊休資産	土地	118	1,707,574
横須賀市津久井	旧津久井テレメータ室	遊休資産	土地	68	1,289,853
横須賀市田浦町	旧月見台住宅配水槽	遊休資産	土地	43	83,400
葉山町下山口	旧秋谷配水池	遊休資産	土地	873	8,101,548
藤沢市渡内	旧渡内ポンプ所	遊休資産	土地	1,364	14,437,162

愛甲郡愛川町半原ほか	旧半原水源地ほか	遊休資産	土地	17,819	4,787,294
横須賀市長瀬	旧長瀬資材管理所	遊休資産	土地	1,094	33,758,143
計				34,667	93,662,207

※上記の表には、当年度以前に減損損失を計上し帳簿価額が備忘価額の資産は記載していない。

イ　認められた減損の兆候
　上記資産は、遊休状態にあるため減損の兆候を把握した。
ウ　減損損失を認識するに至らなかった理由
　上記資産は、路線価による相続税評価額、固定資産税評価額又は不動産鑑定士による鑑定評価額を参考に算出した評価額が帳簿価額を上回る見込みであることから、減損損失を認識していない。
⑵　減損損失を認識した固定資産又は固定資産グループ

なし

Ⅴ．リース契約により使用する固定資産
1　リース取引の処理方法
　所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

令和７年度横須賀市下水道事業会計決算報告

1　令和７年度横須賀市下水道事業決算報告書

（単位　円）

⑴　収益的収入及び支出
収　入

区分	決算額	備考
第１款　下水道事業収益	15,776,430,525	（うち、仮受消費税及び地方消費税　723,192,095円）
第１項　営業収益	10,178,772,134	（　〃　722,384,157円）
第２項　営業外収益	5,593,680,157	（　〃　466,203円）
第３項　特別利益	3,978,234	（　〃　341,735円）

支　出

区分	決算額	備考
第１款　下水道事業費用	14,918,315,899	（うち、仮払消費税及び地方消費税　455,250,158円）
第１項　営業費用	14,504,494,880	（　〃　455,212,975円）
第２項　営業外費用	412,682,613	
第３項　特別損失	1,138,406	（うち、仮払消費税及び地方消費税　37,183円）
第４項　予備費	0	

⑵　資本的収入及び支出
収　入

区分	決算額	備考
第１款　資本的収入	8,916,540,549	（うち、仮受消費税及び地方消費税　3,650円）
第１項　企業債	6,006,500,000	
第２項　負担金及び分担金	480,945,999	
第３項　補助金	2,428,967,000	
第４項　固定資産売却代	127,550	（うち、仮受消費税及び地方消費税　3,650円）

支　出

区分	決算額	備考
第１款　資本的支出	12,954,419,654	（うち、仮払消費税及び地方消費税　529,511,533円）
第１項　建設改良費	6,147,468,102	（　〃　529,511,533円）
第２項　企業債償還金	6,806,951,552	

資本的収入額8,916,540,549円が、資本的支出額12,954,419,654円に不足する額4,037,879,105円は、過年度分損益勘定留保資金458,509,138円、当年度分損益勘定留保資金2,508,334,756円、減債積立金770,178,038円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額300,857,173円で補てんした。

2　令和７年度横須賀市下水道事業損益計算書

（単位　円）

1	営業収益	9,456,387,977	
2	営業費用	14,049,281,905	
	営業利益		△4,592,893,928
3	営業外収益	5,593,552,216	
4	営業外費用	445,936,111	
	経常利益		554,722,177
5	特別利益	3,636,499	
6	特別損失	1,101,223	
	当年度純利益		557,257,453
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		770,178,038
	当年度未処分利益剰余金		1,327,435,491

3　令和７年度横須賀市下水道事業剰余金計算書

（単位　円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	資本合計
前年度末残高	20,398,994,448	21,392,559,315	1,143,062,585	42,934,616,348
前年度処分額	372,884,547	－	△372,884,547	0
処分後残高	20,771,878,995	21,392,559,315	770,178,038	42,934,616,348
当年度変動額	－	13,200	557,257,453	557,270,653
当年度末残高	20,771,878,995	21,392,572,515	1,327,435,491	43,491,887,001

（注）　△表記は、減少、損失又は欠損を示す。

4　令和７年度横須賀市下水道事業剰余金処分計算書

（単位　円）

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	20,771,878,995	21,392,572,515	1,327,435,491
議会の議決による処分額	770,178,038	－	△1,327,435,491
処分後残高	21,542,057,033	21,392,572,515	（繰越利益剰余金）0

（注）　△表記は、減少、損失又は欠損を示す。

地方公営企業法第32条第２項の規定により、令和７年度横須賀市下水道事業会計未処分利益剰余金1,327,435,491円のうち557,257,453円を減債積立金に積み立て、770,178,038円を資本金に組み入れる。

5　令和７年度横須賀市下水道事業貸借対照表

（単位　円）

資産の部		
1　固定資産		
(1)　有形固定資産	213,232,279,512	
(2)　無形固定資産	44,352,415	
固定資産合計		213,276,631,927
2　流動資産		
(1)　現金預金	3,625,386,705	
(2)　未収金	862,706,355	
(3)　前払金	612,760,000	
流動資産合計		5,100,853,060
資産合計		218,377,484,987
負債の部		
3　固定負債		
(1)　企業債	58,748,615,726	
(2)　引当金	660,232,336	
固定負債合計		59,408,848,062
4　流動負債		
(1)　企業債	6,618,668,692	
(2)　未払金	3,625,228,627	
(3)　未払費用	82,909,759	
(4)　引当金	64,435,892	
(5)　預り金	20,729,136	
流動負債合計		10,411,972,106
5　繰延収益		
(1)　長期前受金	104,750,409,431	
(2)　建設仮勘定長期前受金	314,368,387	
繰延収益合計		105,064,777,818
負債合計		174,885,597,986
資本の部		
6　資本金		
(1)　資本金	20,771,878,995	
資本金合計		20,771,878,995
7　剰余金		
(1)　資本剰余金	21,392,572,515	
(2)　利益剰余金	1,327,435,491	
剰余金合計		22,720,008,006
資本合計		43,491,887,001
負債資本合計		218,377,484,987

注記

Ⅰ．重要な会計方針に係る事項

1　固定資産の減価償却の方法

(1)　有形固定資産

ア　減価償却の方法　定額法

イ　主な耐用年数

建物	50年
構築物	30～50年
機械及び装置	10～20年
車両運搬具	４～５年
工具、器具及び備品	４～20年

(2)　無形固定資産

ア　減価償却の方法　定額法

イ　主な耐用年数

ソフトウェア　５年

2　引当金の計上方法

(1)　貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

(2)　退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。なお、繰出基準に基づき、雨水に係る経費として一般会計が負担する金額280,269,567円を除く。

(3)　賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。なお、繰出基準に基づき、雨水に係る経費として一般会計が負担する金額28,717,319円を除く。

3　消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

Ⅱ．貸借対照表等関連

1　企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当年度末日の翌日から起算して１年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担する額は34,876,295,545円である。

２　引当金の取崩し

⑴　貸倒引当金の取崩し

当年度において、債権の不納欠損による損失2,707,636円に充てるため、貸倒引当金2,707,636円を使用した。

⑵　退職給付引当金の取崩し

当年度において、退職手当の支給53,511,448円（一般会計が負担する額22,715,686円を除く。）に充てるため、退職給付引当金53,511,448円を使用した。

⑶　賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出280,206,072円に充てるため、賞与引当金62,535,417円を使用した。

Ⅲ．セグメント情報の開示

横須賀市下水道事業では、公共下水道事業のみを運営しているため、事業全体を一つのセグメントとして区分している。

Ⅳ．減損損失

１　グルーピングの方法

下水道事業会計において使用している固定資産については、生活排水等や雨水の受入れから、浄化処理、排水・下水汚泥処理を行うまですべての資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、１つの資産グループとしている。なお、遊休資産等については、個々の物件ごとにグルーピングしている。

２　減損損失を認識した資産グループ等の概要

⑴　減損の兆候が認められた固定資産又は固定資産グループ（減損損失を認識した固定資産又は固定資産グループを除く。）

なし

⑵　減損損失を認識した固定資産又は固定資産グループ

なし

Ⅴ．リース契約により使用する固定資産

１　リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

令和７年度横須賀市病院事業会計決算報告

１　令和７年度横須賀市病院事業決算報告書

⑴　収益的収入及び支出

収　入　（単位　円）

区　分	決　算　額	備　考
第１款　市民病院事業収益	511,248,019	
第１項　医業収益	268,570,244	（うち、仮受消費税及び地方消費税　1,233,659円）
第２項　医業外収益	242,677,772	（　〃　1,103,478円）
第３項　特別利益	3	
第２款　総合医療センター事業収益	1,023,245,951	
第１項　医業収益	390,075,620	（うち、仮受消費税及び地方消費税　2,006,875円）
第２項　医業外収益	633,170,328	（　〃　2,042,913円）
第３項　特別利益	3	
合　計	1,534,493,970	

支　出

区　分	決　算　額	備　考
第１款　市民病院事業費用	644,474,090	
第１項　医業費用	623,670,612	（うち、仮払消費税及び地方消費税　12,503,834円）
第２項　医業外費用	16,813,478	
第３項　特別損失	3,990,000	
第２款　総合医療センター事業費用	2,066,647,756	
第１項　医業費用	1,883,892,705	（うち、仮払消費税及び地方消費税　15,702,014円）
第２項　医業外費用	173,965,291	
第３項　特別損失	8,789,760	
合　計	2,711,121,846	

⑵　資本的収入及び支出

収　入　（単位　円）

区　分	決　算　額	備　考
第１款　市民病院資本的収入	705,394,000	
第１項　企業債	585,900,000	
第２項　出資金	119,000,000	
第３項　補助金	494,000	
第２款　総合医療センター資本的収入	542,315,000	
第１項　企業債	384,200,000	
第２項　出資金	153,000,000	
第３項　固定資産売却代金	5,115,000	
合　計	1,247,709,000	

支　出

区　　分	決　算　額	備　　考
第１款　市民病院資本的支出	847,807,397	
第１項　建設改良費	638,453,337	（うち、仮払消費税及び地方消費税　57,957,667円）
第２項　企業債償還金	209,354,060	
第２款　総合医療センター資本的支出	721,724,863	
第１項　建設改良費	424,691,003	（うち、仮払消費税及び地方消費税　38,608,273円）
第２項　企業債償還金	297,033,860	
合　　計	1,569,532,260	

資本的収入額1,247,709,000円が資本的支出額1,569,532,260円に不足する額321,823,260円は、過年度分損益勘定留保資金84,542,908円及び過年度分並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額237,280,352円で補てんした。

２　令和７年度横須賀市病院事業損益計算書

（単位　円）

１　医業収益	655,405,330	
２　医業費用	2,479,357,469	
医業損失		1,823,952,139
３　医業外収益	772,574,660	
４　医業外費用	202,768,114	
経常損失		1,254,145,593
５　特別利益	6	
６　特別損失	12,779,760	
当年度純損失		1,266,925,347
前年度繰越欠損金		7,116,319,178
当年度未処理欠損金		8,383,244,525

３　令和７年度横須賀市病院事業剰余金計算書

（単位　円）

	資本金	資本剰余金	欠損金	資本合計
前年度末残高	13,224,477,193	4,061,627,104	△ 7,116,319,178	10,169,785,119
前年度処分額	0	0	0	0
処分後残高	13,224,477,193	4,061,627,104	△ 7,116,319,178	10,169,785,119
当年度変動額	272,000,000	0	△ 1,266,925,347	△ 994,925,347
当年度末残高	13,496,477,193	4,061,627,104	△ 8,383,244,525	9,174,859,772

（注）　△表記は、減少、損失又は欠損を示す。

４　令和７年度横須賀市病院事業欠損金処理計算書

（単位　円）

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	13,496,477,193	4,061,627,104	△ 8,383,244,525
処理額	0	0	0
処理後残高	13,496,477,193	4,061,627,104	（繰越欠損金） △ 8,383,244,525

（注）　△表記は、欠損を示す。

５　令和７年度横須賀市病院事業貸借対照表

（単位　円）

資産の部		
１　固定資産		
(1)　有形固定資産	31,317,071,384	
(2)　無形固定資産	3,681,300	
固定資産合計		31,320,752,684
２　流動資産		
(1)　現金預金	6,415,499,308	
(2)　未収金	238,041,944	
貸倒引当金	△ 2,919,907	
(3)　未収収益	37,916	
(4)　前払費用	15,895	
(5)　前払金	120,110,000	
流動資産合計		6,770,785,156
資産合計		38,091,537,840
負債の部		
３　固定負債		
(1)　企業債	26,666,652,282	
(2)　引当金	50,149,505	
固定負債合計		26,716,801,787
４　流動負債		
(1)　企業債	1,617,112,332	
(2)　未払金	71,151,073	
(3)　未払費用	1,232,196	
(4)　引当金	4,758,476	
(5)　預り金	2,760,570	
流動負債合計		1,697,014,647
５　繰延収益		
(1)　長期前受金	502,861,634	
繰延収益合計		502,861,634
負債合計		28,916,678,068
資本の部		
６　資本金		
(1)　資本金	13,496,477,193	
資本金合計		13,496,477,193
７　剰余金		
(1)　資本剰余金	4,061,627,104	
(2)　欠損金	8,383,244,525	
剰余金合計		△ 4,321,617,421

資 本 合 計　9,174,859,772
負債資本合計　38,091,537,840

注記

Ⅰ．重要な会計方針に係る事項

1　固定資産の減価償却の方法

⑴　有形固定資産

ア　減価償却の方法　定額法

イ　減価償却の開始時期　事業の用に供した日の属する月から

ウ　主な耐用年数

建物　６～47年
構築物　10～50年
器具及び備品　４～20年

2　引当金の計上方法

⑴　貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

⑵　退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。

⑶　賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

⑷　法定福利費引当金

賞与引当金に対応する額を計上している。

3　消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

Ⅱ．貸借対照表等関連

1　引当金の取崩し

⑴　貸倒引当金の取崩し

当年度において、債権の不納欠損による損失39,600円に充てるため、貸倒引当金39,600円を使用した。

⑵　退職給付引当金の取崩し

退職給付金の残額と当年度末における退職給付引当金所要額との差額14,806,128円を収益として戻入した。

⑶　賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に充てるため、賞与引当金4,152,081円を使用した。

⑷　法定福利費引当金の取崩し

当年度において、賞与引当金取崩しに対応する法定福利費引当金895,860円を使用した。

Ⅲ．セグメント情報の開示

1　報告セグメントの概要

当会計は、市民病院、総合医療センターの２つの施設を運営しており、施設ごとに運営方針等を決定していることから、「市民病院事業」、「総合医療センター事業」の２つを報告セグメントとしている。

各施設については、分離された財務情報が入手可能であり、予算審議及び決算認定をするために、定期的に市議会に報告する対象となっているものである。

各施設の事業内容は以下のとおりである。

区　分	事　業　の　内　容
市民病院事業	地域医療支援病院、災害拠点病院
総合医療センター	地域医療支援病院、災害拠点病院、救命救急センター

2　報告セグメントごとの事業収益等

当年度（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）　（単位　円）

	市民病院	総合医療センター	合　計
医業収益	267,336,585	388,068,745	655,405,330
医業費用	611,166,778	1,868,190,691	2,479,357,469
医業損益	△ 343,830,193	△ 1,480,121,946	△ 1,823,952,139
経常損益	△ 187,106,563	△ 1,067,039,030	△ 1,254,145,593
セグメント資産	6,254,327,229	31,837,210,611	38,091,537,840
セグメント負債	1,966,729,585	26,949,948,483	28,916,678,068
その他の項目			
収益的収入他会計繰入金	385,000,000	618,000,000	1,003,000,000
減価償却費	447,154,898	1,652,040,034	2,099,194,932
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	458,175,670	560,911,900	1,019,087,570

Ⅳ．減損損失

1　グルーピングの方法

キャッシュ・フローを生成する最小単位として病院施設を単位とし、遊休資産については個々の物件単位でグルーピングしている。

2　減損の兆候について

当年度において、以下の固定資産グループについて減損の兆候を認識した。

用　途	種　類	場　所
市民病院	土地、建物、器具及び備品	横須賀市長坂１丁目

上記固定資産グループは、業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなる状況であるため、減損の兆候を認識しているが、割引前キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を上回るため、減損損失を認識していない。

3　減損損失を認識した固定資産グループ等

⑴　減損損失を認識した固定資産

ア　固定資産の概要

用　途	施設・場所	種　類	帳簿価額 令和８年３月31日現在	減損損失の金額
遊休資産	旧太田和医師公舎・看護師宿舎 （横須賀市太田和２丁目）	土地、建物、構築物	29,610,003円	3,990,000円

計	29,610,003円	3,990,000円

（注）帳簿価額は、現存損失控除前の額である。

イ　減損損失を認識するに至った経緯

上記固定資産は、遊休状態にあり回収可能価額が帳簿価額を下回るため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を特別損失に計上した。

ウ　減損損失の金額及び固定資産の種類ごとの当該金額の内訳

種　類	金　額
土地	3,990,000円
建物	0円
構築物	0円
計	3,990,000円

エ　回収可能価額の算出方法

当該固定資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額については、不動産鑑定士による鑑定評価額とした。

なお、建物及び構築物の正味売却価額は備忘価額とした。